

(別紙8)

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月20日

【評価実施概要】

事業所番号	0171401755		
法人名	株式会社 サポートライフ		
事業所名	グループホーム 泰安の郷 海願		
所在地	北海道函館市海岸町9番30号 (電話) 0138-62-5577		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年2月19日	評価確定日	平成22年3月9日

【情報提供票より】(平成22年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月3日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	21人	常勤	13人, 非常勤 8人, 常勤換算 12.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,500円	その他の経費(月額)	20,000~30,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,330円			

(4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5	4名	要支援2	0名		
年齢	平均 84.1歳	最低	70歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	住慶クリニック・函館市医師会病院・函館中央病院 函館協会病院・藤岡眼科病院・さこ歯科クリニック
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員の段階に応じた内部研修の定期的開催や地域のブロック研修等の外部研修参加に積極的に取り組んでいる2ユニットのグループホームです。また、地域とのかかわりでは、町内会の清掃活動や資源回収、夏祭りへの参加、小学校の運動会や学芸会への訪問等地元の人々との交流に努めていると共に利用者が地域の喫茶店で喫食するなど地域との連携を深める取り組みも行われています。毎月発行される「海願からの潮騒」便りでは、地域の行事参加の様子や日常生活の様子、戸外に出かけた時の楽しい様子等が写真で分かりやすく掲載されていたり、「認知症マメ知識」の掲載で認知症への理解や広報に取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価では、運営推進会議への家族、地域の人達のさらなる参加呼びかけについて改善点が挙げられていましたが、行政担当者や包括支援センター職員、利用者、家族、地域の役員等が参加して健康管理等について具体的に話し合われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 評価を実施する意義を理解し、評価を活かして新たな気づきや改善の機会として利用されホーム内に設置されている委員会で具体的改善策について話し合わせ、ヒヤリ・ハット等の活動に取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に開催され、主な議題は 1年を振り返り運営推進会議について意見交換 夏祭り、楓立祭等の地域の行事参加について 新型インフルエンザ予防対策について 新たに実施される情報の公表制度について 認知症の人の実感と健康管理について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「意見箱」を玄関に設置して、家族、来訪者が苦情や意見を言い表せる機会を設けて、そこでの意見をホーム内の委員会で話し合い改善活動に活かされています。また、家族等の来訪時に不安な点への対応や要望等について話し合わせ運営に反映されていると共に毎月発行する「海願からの潮騒」便りで日常生活の様子等情報提供されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホーム主催の「夏祭り」を開催して、地元の人々との交流する機会を設けたり、地域の喫茶店での喫食や家族と地元のお店での夕食、ハーモニカ演奏やお化粧隊、幼稚園児のよさこい等の地域のボランティアの受け入れ、町内会の清掃活動や資源回収、夏祭りへの参加、小学校の運動会や学芸会への訪問など地域の人達との交流や連携に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の介護理念、15ヶ条の目標をつくりあげ、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスに取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、朝礼時に理念を唱和し、共有している。また、理念の実践に向けて具体的な15ヶ条の目標を作っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム主催の「夏祭り」を開催して、地元の人々との交流する機会を設けたり、地域の喫茶店での喫食、ハーモニカ演奏やお化粧隊、幼稚園児のよさこい等の地域のボランティアの受け入れ、町内会の清掃活動や資源回収参加、小学校の運動会や学芸会への訪問など地域の人々との交流や連携に取り組んでいる。		特筆すべき点として、毎月発行する「海願からの潮騒」便りで認知症への理解や広報の為に「認知症マメ知識」が継続的に掲載され、職員の持つ専門知識が分かりやすく地域の人々や家族等に伝えられている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を実施する意義を理解し、評価を活かして新たな気づきや改善の機会として利用されホーム内に設置されている委員会で具体的改善策について話し合わせ、ヒヤリ・ハット等の活動に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヵ月毎に開催され利用者、家族、地域の役員、包括支援センター職員、函館市職員及び管理者・職員で構成され、具体的意見を出し合いサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>函館市や包括支援センター主催の研修会等参加や情報交換に取り組みサービスの質の向上に取り組む努力をしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理は、毎月預かり金出納帳と領収書のコピーを添付し、家族に報告している。また、定期的な「たより」の発行で日常生活の様子等情報提供されている。状態変化時は、都度速やかに電話連絡などで詳細に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>「意見箱」を玄関に設置して、家族、来訪者が苦情や意見等を言い表せる機会を設けて、そこでの意見をホーム内の委員会で話し合い改善活動に活かされている。また、家族等の来訪時に不安な点への対応や要望等について話し合われ運営に反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職や異動は少なく、利用者へのダメージを防ぐ配慮をする取り組みに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の段階に応じた内部研修の定期的開催や地域のブロック研修等の外部研修参加に積極的に取り組んでいる。また、教育委員が中心となって、新人教育の独自の「新人教育プログラム」を作成し、実践している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のブロック会議、南北海道グループホーム連絡協議会で定期的な交流や研修会等に参加し、サービスの質を向上させていく取り組みが行われている。		今後は、難しい点もあるかと思いますが同業者との相互訪問等推進されることを期待します。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前には、利用者・家族の見学や面談などで場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人と一緒に食事の準備や後片付け、散歩や買い物、一緒に新聞を読みながら本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を把握しながら職員が新聞を読み利用者とのニュースへの意見交換や散歩、買い物や喫茶店での喫食等本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、カンファレンス、モニタリングを行い本人、家族、必要な関係者と話し合いそれぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じてカンファレンス、モニタリングで見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院への支援や喫茶店訪問等柔軟に支援を行っている。また、往診や訪問理美容等の利用など支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、医師や看護師の定期的な訪問や通院への支援で適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、看取りの指針を職員全員で共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応はしていない様子が伺えた。また、個人情報保護法に対応した記録等の取り扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、観葉植物の水遣りや入浴なども本人の希望に沿って支援している。また、夏祭り等のホーム行事参加や散歩、食事の準備や後片付け等本人の希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一緒になってエプロンを着けて調理や食事の準備、後片付け等一人ひとりの好みや力を活かしながら、希望にそって支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1階には昇降式浴槽(特殊浴)を配備し、身体機能の低下に対応できるように支援している。また、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら、観葉植物の水遣りや食事の準備、後片付け、散歩や買い物等楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、散歩や近隣の商店での買い物、喫茶店訪問等戸外に出かけられるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会で職員の共有を図っている。また、運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力のもと地域の自警団と連携した火災避難訓練を年2回実施している。また、毎月防火管理チェックシートで点検している。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事摂取量・水分摂取量が記録されている。また、摂取カロリーや栄養バランスについて、職員に分かりやすくカロリー表示の目安を掲示するなどしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内は広く明るく清潔感が漂い、利用者の世話する観葉植物や亀が飼育されている。また、ベランダからは、日光浴ができるスペースが確保され季節感も味わえる。利用者にとって、気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら、仏壇や使い慣れた家具が持ち込まれたり、家族の写真が飾られ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。